

6/9 営業関係の提案を受ける

千葉地本は、支社より 6/9 に営業関係の提案を受けました。内容は以下の通りです。

「変革 2027」の実現に向けて、駅・地域に新たな価値を生む仕事に注力できるよう、駅の業務を変革するとともに、鉄道と生活サービス事業を融合させた、新たなサービスを創造する駅運営体制の構築を目的とし実施する。

1. 窓口営業時間変更に伴う体制変更

- (1)実施箇所：津田沼駅
- (2)実施時期：2020年11月1日(日)
- (3)要員関係：標準数一般 57 **減2**
- (4)変更時間：現行 6:00～22:00⇒**変更後 8:00～20:00**

2. 窓口閉鎖

- (1)実施箇所：海浜幕張駅、稲毛海岸駅
- (2)実施時期：2020年11月1日(日)
- (3)要員関係：海浜幕張駅 一般 14 **減2**、稲毛海岸駅 一般 7 **減2**

3. 駅業務委託

- (1)実施箇所：海浜幕張駅、稲毛海岸駅
- (2)実施時期：2020年12月1日(火)

4. 駅業務委託に伴う管理駅の体制強化

- (1)実施箇所：新浦安駅
- (2)実施時期：2020年12月1日(火)
- (3)要員関係：新浦安駅 標準数 管理 6 **増1**

5. その他

- (1)海浜幕張駅には、話せる指定席券売機を導入する。
- (2)海浜幕張駅、検見川浜駅、稲毛海岸駅、千葉みなと駅は、新浦安駅の被管理駅となる。
- (3)必要な周知等は実施する。

京葉線”ベイサイドプロジェクト”を推し進める一歩として、これからの駅のあり方+生活サービス事業として、稲毛海岸駅・海浜幕張駅を「千葉ステーションビル」に業務委託するという内容です。

社員の働き方の多様性は考えなければならないのですが、そのしわ寄せが他の一部社員への負担増やお客さまの利便性を損ねてはなりません。東日本ユニオンは労働条件の向上と信頼される会社を目指すべく、駅のあり方を含めてこの提案について取り組んでいきます。